

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 広島市立幟町小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒730-0016

広島市中区幟町 3-10

E-mail nobori@e.city.hiroshima.jp

Website www.noborichou-e.edu.city.hiroshim.jp/

幼児児童生徒数 男子 290名 女子 236名 合計 524名

幼児・児童・生徒の年齢 6～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

当校は、「持続可能な社会づくりのために、平和の担い手となる子どもを育てる」ことを学校理念として、2つの集会を中心とした平和教育を柱として世界恒久平和の実現に貢献する意欲と態度をはぐくむ教育を推進している。

2つの集会とは、①平和集会、②コスモス集会である。また、広島市が掲げる③平和プログラムの実践④他校との交流を行っている。また、⑤「思いやりの心を育てる幟プログラム」(ESD カレンダー)を構築し、実践を積み重ねている。本校の平和教育は、ESDの理念を具現化した場であり、本校の日々の教育実践と世界平和を発信する場となるよう活動を進めている。

① 平和集会 (ESD : いのち)

8月4日(金)、原爆の日を迎えるにあたって、原爆犠牲者の追悼と平和について考えるとともに、持続可能な平和な世界をつくるために自分たちに何ができるか考える機会として全校集会を行った。児童を代表して「原爆の子の像碑前祭」・「縮景園慰霊祭」に参加し、全校で折った千羽鶴を献鶴した児童から、平和の願いや他校の児童・生徒の活動の報告を行った。また、各学年の平和学習の感想・児童代表平和メッセージ(6年代表)を発表し平和の願いを発信した。

② コスモス集会 (ESD : ルール)

平和祈念公園「原爆の子の像」及び文芸作品『サダコ』のモデルである本校卒業生で佐々木禎子さんの命日(10月25日)に、全校児童が集い、「原爆の子の像」や佐々木禎子さんについて話を聞き、佐々木禎子さんの後輩として平和を愛し、持続可能な平和な世界をつくるために自分たちに何ができるか考えた。また、広島市在住であったパルチコフ先生の被爆したヴィオリンの演奏を聞き、当時を偲んだ後、平和の願いを込めて「折り鶴のとぶ日」を全校合唱した。

③ 平和プログラム

平成29年度は平和教育プログラム実践協力校として、広島市の平和教育をリードしていく役割を担い、「平和教育プログラム」を基軸とした平和教育を推進するとともに指導法などの実践研究を行い、その成果の普及に努めた。

④ 他校(東京都星美学園小学校 長崎市立山里小学校)との交流

東京都星美学園小学校6年生が来校され、本校にて被爆ピアノの演奏を聴き両校で平和の歌の交流を行った。また、もう一つの被爆地である長崎市中心部にある山里小学校に本校6年生児童が訪問し、平和学習で学んだことを交流し合い協力して平和の願いを記したメッセージボードを作成した。



①原爆の日の前にして平和集会



②佐々木禎子さんの命日コスモス集会



③平和プログラム 研究授業



④長崎市山里小学校と交流

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(修学旅行)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

平和ノート（広島市）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

「思いやりの心を育てる幟プログラム」（幟町小学校 ESD カレンダー）

身近な日常が平和とどうつながっているのかを実感させ、各学年の目指す子ども像を明確にするために、本校独自の「ルール」、「かかわり」、「いのち」という3つのカテゴリーのもと「思いやりの心を育てる幟プログラム」とし、行事や教科、領域の学習を縦や横のつながり、道徳教育との関連を意識して整理し、児童の自主的・主体的活動を重視した実践を重ねている。

「幟町小学校キャリア支援プラン」

持続可能な開発のための教育の実現に向けて、6年間の発達段階を踏まえた「キャリア支援プラン」を作成し教育活動を推進している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

6年間の発達段階を踏まえた「幟キャリア支援プラン」を作成し、「ルールを守って、上手にかかわり、命を守ろう！」を合言葉に教育活動を推進している。この「幟キャリア支援プラン」については、年度初めに職員研修を行うと共に、PTA総会や学級懇談会でも保護者に説明し、共通理解を図っている。また、「幟町小学校キャリア支援プラン」をもとに、本校では、各部の部長と協力しながら研究推進部が学校全体のESDカレンダーを作成し、「ルール、いのち、かかわり」を意識した年間計画「幟町小学校ESDカレンダー」を作成し実践している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

各平和学習の事後には、必ず児童・教師にアンケート調査を行い、達成度と感想を集約している。その結果「平和について深く考えることができた」という肯定的な回答は90%を超えた。また、思いやりの心を育てるために、「楽しい幟町小学校にするために」という具体的行動規範を児童に示して指導に当たり、年間2回のアンケート調査により成果をはかっている。その結果「してもされてもうれしいこと」や「あたたかい言葉・親切・仲間づくり」ができているという肯定的回答が1回目を大きく上回る結果となった。今後も、教師間の共通理解の下、継続的に細やかな指導が必要であ

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

平和集会など行事・取組のプレスリリースを行い、多くのマスコミ取材を受け、新聞・テレビ・書籍掲載で平和の願いを発信している。また、ホームページへの掲載を随時行っている。校内で行う平和集会・コスモス集会については、保護者に案内を出し参加を呼びかけている。

本校合唱部は、NHK全国学校音楽コンクール中国大会銀賞を受賞しており、「おりづるのとぶ日」など平和の歌を、「原民喜生家プレート完成式典・ハワイ移民の会・京橋川遊歩道など多くの場で披露している。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)
※チェック事項 2-3 に対応

・平和記念資料館啓発課に依頼し、被爆体験証言者2名を派遣していただき平和学習会(被爆体験講話)を実施した。また、地域史実に詳しい地域の方と連携して、資料・情報提供を受け、校舎内に佐々木禎子さんの資料や被爆当時の町の様子などの資料展示を行い、一般公開する平和資料室構築に取りかかっている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)
※チェック事項 2-4 に対応

現在、ユネスコスクールとの交流はないが、前記の長崎市立山里小学校と本校6年生児童の平和学習交流、東京都星美学園小学校6年生児童と被爆ピアノを通しての平和学習交流、また、4学年児童においては、東京大空襲を中心に平和学習を行っている東京都江東区第五砂町小学校と交流を行い、本校に送られてくる折り鶴で紙をすいて作った葉書に平和のメッセージを記して送り交流するなどした。ユネスコスクールとしての指定は受けられていないが、ユネスコの理念をもたれている学校と活動を広げてい

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

もう一つの被爆地長崎市山里小学校との交流は、被爆地広島と長崎の小学生の交流としては戦後初の取組であり、両市の連携による平和教育の推進の意義は大きい。今後もこの取組を発展推進していきたい。また本校独自の「幟町小学校キャリア支援プラン」は、持続可能な開発のための教育の実現に向けて、6年間の発達段階を踏まえた教育活動を推進し、大きな成果を上げている。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

29年度に、引き続き30年度広島市平和プログラム実践協力校となり、各学年平和プログラムに基づく平和教育を推進するとともに、指導法の実践研究を行い、その成果を普及することを通して広島市平和教育の一層の充実に貢献する取組を行う。具体的には、平和集会・平和学習会（被爆体験継承講話）・コスモス集会（佐々木禎子さんの命日に平和を考える）・各学年の平和学習（平和記念公園見学・平和記念資料館見学・各慰霊祭参加等）、また30年度には、新たな取り組みとして、全校児童で学区内を歩き、学区内にある被爆樹木・被爆建物、文化遺構・地域に関わる歴史物語を学ぶ「のぼり平和ウォーク」を行う。